

当JAをご利用いただいている皆様へ
平成30年度の決算内容をお知らせします。

貯金残高は、 509億6,625万円

貸出金残高は、 114億3,590万円

当期利益は、 3億3,006万円

(平成31年1月末現在)

皆さまの温かいご支援、ご愛顧により、当JAの決算は上記の内容となりました。

また、過去5年間の当JAの業績の推移は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	平成27年 1月末	平成28年 1月末	平成29年 1月末	平成30年 1月末	平成31年 1月末
貯金残高	47,065	48,144	50,021	51,425	50,966
貸出金残高	12,521	11,808	11,097	10,511	11,436
経常利益	314	386	370	391	470
当期利益	243	303	365	305	330

自己資本比率の高さが
経営の健全性を証明しています。

自己資本は 79億8,521万円

自己資本比率は 24.60%

(平成31年1月末現在)

自己資本比率は、経営の健全性を示す指標の一つで、金融機関の規模に対し元手のお金がどれだけあるかを表し、金融機関が自己責任を果たすための「体力」を示す重要な指数です。比率が高いほど健全な財務体質であるといわれており、自己資本比率の国内基準が「4.0%」であることから考えても、当JAの経営内容の充実が、おわかり頂けると思います。

どうぞご安心ください。リスク管理債権への対応も万全です。

■リスク管理債権の状況

(単位：百万円・%)

		平成30年度
総貸出金額	(A)	11,436
リスク管理債権額	(B)	227
破綻先債権		0
延滞債権		227
3ヶ月以上滞納債権		0
貸出条件緩和債権		0
上記(B)のうち担保・保証で保全している額	(C)	211
担保・保証を差し引いたリスク管理債権額 (B) - (C)		16
総貸出金額に占めるリスク管理債権額の割合 (B) / (A)		1.98%
貸倒引当金		16

※リスク管理債権は農業協同組合法施行規則第204条に準拠して記載しております。

当JAのリスク管理債権の状況は、上記の表のとおりとなっておりますが、担保や保証および、貸倒引当金により財務の健全性確保に努めております。